令和元年（2019）年１２月２４日

やまとひがし

大和市立大和東小学校

冬休み号

新しい学力　その③

今後、学校では「正しい答えを学ぶのではなく、正しい考え方を学ぶ」という話を聞きます。前回は新しい教科書を例にとってお伝えしましたが、今回は授業を取り上げてこのことを多少誇張して具体的にお伝えしていきたいと思います。これからの授業は、児童が知識を受け取る授業から、自ら学びとる授業を目指すことになります。

過去の授業では「○○は☆☆ということです。いいですか、黒板に書いてあることをノートに書いてしっかり覚えましょう、わかりましたか」「ハーイ」と先生が教授する形態が取られてきました。

今後は、「○○はどういうことか、みんなで考えます。今まで学習したことや新しい情報はこれです。それを使って個々でよく考えてから、グループで相談し考えを出し合って明らかにします。授業後は何を学んだか振り返って確認しますよ。」「ハーイ」といった具合に、学習テーマに沿った情報をもとに児童が探求的に学んでいく授業形態が増えていきます。その時間の学習内容によりこの方法が全てではありませんが、考え方を学ぶためには、児童一人ひとりが自分で考える時間が必要でありクラスの中で考えを出し合う中で多角的な考え方に触れ、自分の考えを深めていく学習が必要となるのです。これを「主体的・対話的で深い学び」と表現し新しい学力を育む視点となっています。

１月号に続きます。校長

日頃のご理解ご協力感謝申し上げます。皆様、どうぞ穏やかなお正月をお迎えください。